

報道関係社各位

株式会社ドリームポート

**ドリームポート、デジタルデータ共有プラットフォーム「SkeedCast 2.1」を提供開始  
～ビジネス利用の拡大により、周辺システムとの連携機能を大幅強化～**

株式会社ドリームポート(京都市中京区 代表取締役 明石昌也 以下、ドリームポート)は、周辺システムとの連携機能を大幅に強化した「SkeedCast 2.1」をリリースいたしました。

昨年12月のリリース以来、ビジネス利用を主とする顧客への導入事例が増加する中、企業内・企業間での利用を想定したパッケージソフトウェアである「SkeedCast2.0」は高い評価を受けてまいりました。

このたび、「SkeedCast2.1」においては企業システムにおいて不可欠となる外部システムとの連携機能をさらに強化し、より一層スムーズな導入・運用を実現しました。

既に「SkeedCast 2.0」を導入済のユーザー企業には無償で新バージョンが提供され、新機能を利用することが可能です。

今後は、スケジュールに従った配信、データ転送経路の自動最適化など、ビジネス利用において重要な機能に関してより一層の改善・強化を行い、製造業、デジタルコンテンツ制作業、製薬業などの多業種、また、グローバル企業を主な対象とした販売活動を加速させてまいります。

● **SkeedCast 2.1 で強化された機能**

SkeedCast ネットワークと外部システムとの接点は、以下の3領域に及んでいます。

1. データの管理
2. データの投入
3. データの取得

今回リリースされた「SkeedCast2.1」では、その全領域において大幅に機能を強化いたしました。

「データの管理および投入」の領域については、

- ・ HTTP によるファイル管理用 API の提供
- ・ Java を始めとする汎用プログラミング言語によるファイル管理用 API の提供

「データの取得」の領域については、

- ・ 任意のアプリケーションからの動的なロードと利用が可能な、SkeedCast 通信ライブラリの提供
- ・ SkeedCast ネットワークを、OS のファイルシステムへ直接マウントすることを可能にするライブラリの提供

を行うことで、大規模な周辺開発を伴うことなく企業の既存システムからシームレスな形で SkeedCast ネットワークの優れた特性を十分に活用できます。

## ● SkeedCast の優位性

デジタルデータ共有プラットフォーム製品「SkeedCast」は、ドリームボート独自のテクノロジーである「Skeedテクノロジー」を活用して実装されています。この「Skeedテクノロジー」は、多数のマシンを協調動作させて一つの仮想的なネットワークを構成し、その上で多数のファイルを管理するための基礎技術です。

SkeedCast はこのテクノロジーを活用することで、

1. 切れず、止まらず、遅延せず
2. 無限のスケーラビリティ
3. ファイルの正真性および完全性の確実な保証
4. 自在に伸縮するキャッシュプール

などの優れた特徴を備えたデジタルデータ共有プラットフォームを実現しています。

## ■ 株式会社ドリームボートの会社概要

2005年4月設立以来、分散コンピューティング分野における卓越したノウハウ・技術力を生かし、独自アーキテクチャによる通信基盤ソフトウェア製品を開発して参りました。当社のテクノロジーが提供する安全・確実かつ高速な通信技術は、データ通信の大容量化・ユビキタス化・グローバル化といったクラウド時代のニーズを先取りし、急速に拡大するクラウドコンピューティング市場に対して代替不可能な価値を提供しております。

### お問い合わせ先

株式会社ドリームボート 営業部

TEL: 03-5487-1032 FAX: 03-5487-1037

E-mail: [press@dreamboat.co.jp](mailto:press@dreamboat.co.jp)

URL: <http://www.dreamboat.co.jp/>